

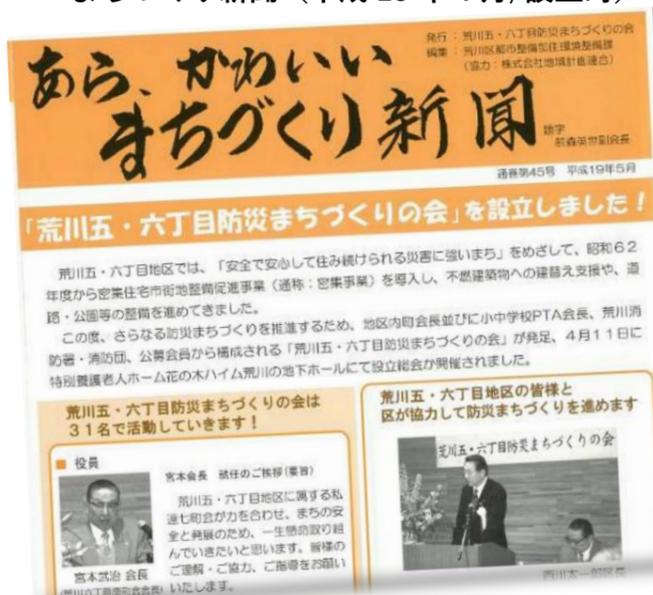
# 荒川五・六丁目防災まちづくりの会の活動の歴史

設立から今年で 12 年目を迎えた活動の歴史を年表とまちづくり新聞でご紹介します

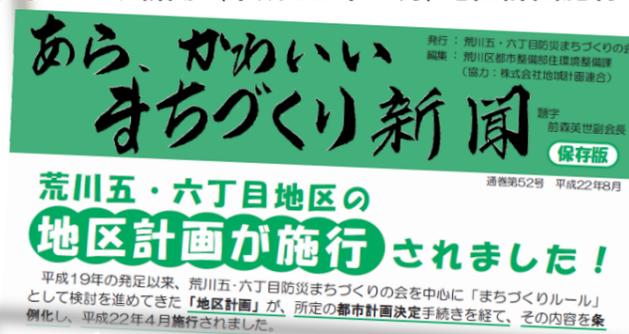
## 活動年表

経年	活動
平成 19 年度	以前からまちづくりの活動を行っていましたが、さらなる防災まちづくりを推進するため、荒川五・六丁目防災まちづくりの会を発足 (4/11 設立総会)
平成 20~21 年度	まちづくりのルール～地区計画に向けて検討、意見交換会、説明会や相談会等を実施
平成 22 年度	地域の防火・防災功労賞優良賞を受賞し、東京消防庁より表彰
平成 23 年度	防災・減災まちづくりフォーラム開催「地域の防災力を高めるために」
平成 24 年度	防災まちづくり活動の推進
平成 25 年度	防災体験館見学ツアー
平成 26 年度	まちづくりの先進事例を視察
平成 27 年度	延焼シミュレーションについて学習
平成 28 年度	まち歩きを実施
平成 29 年度	まち歩きの成果を反映した「防災マップ」を作成
平成 30 年度	防災スポット体験会

## まちづくり新聞 (平成 19 年 4 月/設立時)



## まちづくり新聞 (平成 22 年 8 月/地区計画施行時)



## <区からのお知らせ>

皆様の住まいに関するお悩み、お答えします!

荒川区主催

## 住まいの相談会のお知らせ

### 第4回開催日時

・9/6(金) 18:30~21:30 受付 18:15~20:30

・9/7(土) 9:15~12:00 受付 9:00~11:00

会場:ムーブ町屋 4階 会議室B(荒川七丁目50番9号)



## お問い合わせ先

荒川区 防災都市づくり部 防災街づくり推進課 防災街づくり係 (区役所北庁舎 2階⑭窓口)

電話: 03-3802-3111 (内線 2828) / FAX: 03-3802-4104

担当: 青天目 (なばため)、伊藤



## 2019 年度の取り組みについて

「荒川五・六丁目防災まちづくりの会」は、平成 19 年 4 月の設立以降、防災まちづくりに関するさまざまな活動を積み重ね、今年で 12 年目を迎えました。

今年度はこれまでの活動の歴史を振り返って活動の意義を再確認するとともに、各地で自主的に防災まちづくりに取り組んでいる他の団体と話し合う「防災まちづくり交流会」を開催し、視野を広げた活動に取り組むこととしました。

### 今年度のスケジュール

2019年 6月28日(金)	10月下旬	2020年 2月頃
<b>第1回協議会</b>	<b>第2回協議会</b>	<b>第3回協議会</b>
①昨年度のふりかえり ②今年度の取り組み 防災まちづくり交流会の実施について ③まちづくり新聞(案)について	防災まちづくり交流会の開催(テレビ会議)	①今年度の取り組みのまとめ ②来年度の取り組み検討
<b>8月頃</b> まちづくり新聞第70号 発行、配布		<b>3月頃</b> まちづくり新聞第71号 発行、配布

「防災まちづくり交流会」は、「荒川五・六丁目防災まちづくりの会」の協議会会場と、参加予定の団体の現場を結ぶ"テレビ会議方式"で行う予定です。

今年度第1回の協議会では、「防災まちづくり交流会」の準備に向けた話し合いを行いました(内容はp2、3参照)。



「防災まちづくり交流会」の準備について話し合う  
荒川五・六丁目防災まちづくりの会

# 今年度 第1回協議会：「防災まちづくり交流会」の準備に向けた話し合いを行いました

「荒川五・六丁目防災まちづくりの会」の紹介、「防災まちづくり交流会で話し合いたいこと」などについて検討を行いました。



## 話し合いで出た意見

＜本地区の活動や課題＞	＜活動や課題に対する交流事項＞
防災まちづくりマップをつくって良かった。災害時に役立つ施設や設備が載っていて、気が付かないところに消火器があることも分かった。	日頃からマップを活用するためにどうしているのだろうか。
道路を拡幅したところは、道路沿いの古い木造建物が新しいマンションなどに建て替わっている。	どのような防災まちづくりを進めているのだろうか。
建替の共同化は良い取り組みだが、課題も知ることができた。メリットを伝えるのと合わせて、デメリットも明確にして伝えればもっとうまくいったのではないかな。	他の団体で共同化の例があれば、どのようにして実現できたのか、聞けると良い。
道路が広がっても真ん中に電柱が残っているとところがあり、なかなか移設できない。	他のところではこうした例があるのだろうか、どうしているのか聞いてみたい。
防災スポットの体験会は設備の使い方が分かって良かった。	他のところでは身近な防災訓練をどのようにしているのだろうか。
ここには新旧の世代がいるが、防災活動に取り組んでいる若い人が少ない。	どうやって若い人を巻き込んでいけるか、他ではどうしているか聞けると良い。

この他にも、いろいろ意見が出されました。

これらを交流先に事前にお伝えし、交流会の時に御返事をいただくことにしました。

## 防災まちづくりについて



## 交流先のご紹介



板橋区 仲町・弥生町・南常盤台一丁目地区  
防災まちづくりの会

防災広場の設置や行き止まり路地の開放などの防災まちづくり、復興まちづくりの事前準備を行う都市復興ワークショップなどを実施しています。

国分寺市 高木町自治会

自主的に「へいづくり憲章」「まちづくり宣言」を定め、危険な塀の安全化、道路の改善、防災設備の充実、危険箇所の巡回・点検等の防災まちづくり活動を展開しています。



## 荒川五・六丁目防災まちづくりの会…11年間の活動

平成19年4月に地区内町会長並びに小中学校PTA会長、荒川消防署・消防団、公募会員から構成される「荒川五・六丁目防災まちづくりの会」を発足しました。

区が進める密集事業を支援するとともに、住民による自主的な防災まちづくり活動を推進しています。

### ＜主な活動＞

#### その1：まちづくりのルールを地区計画として決定

まちづくりの会が主体となり、地区住民と区が協働したワークショップやアンケート、意見交換会を行いながら、安全で安心して住み続けられる災害に強いまちづくりルール「荒川五・六丁目地区地区計画（平成21年12月決定、平成30年4月変更）」を定めています。

#### その2：防災に関する体験や学習を蓄積

防災体験館や先進事例の視察、延焼シミュレーションについての学習などを通して地区の課題について意識を共有しました。

#### その3：まち歩きを踏まえた防災まちづくりマップを作成し、理解を深める活動を推進

- ①防災資源や危険を感じる場所を確認し、さらに地域の歴史等まちの魅力を探しながらまち歩きを実施しました。
- ②まち歩きの成果を反映した「防災マップ」を作成しました。
- ③防災スポットにある防災設備を実際に使ってみることで、災害時の広場などの役割を考えました。



①防災まち歩き



③防災スポット体験会



②「防災マップ」の作成